

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月～2024年9月)

株式会社ベーシック



作成日:2024年11月14日

目 次

1. 組織の概要		1, 2P
2. 環境経営方針		3P
3. 環境管理実施体制		4P
4. 環境経営目標		5P
(1) 短期的環境経営目標		5P
(2) 長期的環境経営目標		6P
5. 環境経営計画		7P
6. 環境実績結果		8P
7. 環境経営計画の取組結果とその評価 及び次年度の環境経営計画		9P
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無		10P
9. 代表者による全体の評価と見直し		11P

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 - ・株式会社ベーシック
 - ・代表取締役社長 名倉 篤史

- (2) 所在地
 - ・静岡県磐田市大久保474-8

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 - ・責任者 営業部 山下 欣也
 - ・TEL: 0538-31-6272
 - ・E-mail: kinya_yamashita@basic-co.jp

- (4) 設立年月日
 - ・1974年10月

- (5) 事業内容
 - ・非鉄金属類・電子機器廃材各種のリサイクル、産業廃棄物収集運搬業、新電力代理店

- (6) 事業の規模
 - ・資本金 1,000万円
 - ・売上額 9.2億円 (2023年度実績)
 - ・取扱量 1,224トン (2023実績, 産業廃棄物収集運搬量＋再生資源の回収・収集量)
 - ・従業員 8名 (2024年12月現在)
 - ・本社延べ床面積 2,512m²

- (7) 事業年度
 - ・10月～9月

- (8) 対象範囲
 - ・対象組織 株式会社ベーシック 本社事業所
 - ・対象活動 非鉄金属類・電子機器廃材各種のリサイクル、産業廃棄物収集運搬業、新電力代理店



(9) 産業廃棄物収集運搬業の許可の内容

許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の区分	産業廃棄物の種類
静岡県02201045217	令和4年2月12日	令和9年2月11日	収集運搬(積替え及び保管を除く)	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類紙くず、木くず、繊維くず、以上7品目

(10) 施設等の状況

・収集運搬車両

4t平ボディー1台

6tユニック1台(2018年3月新車導入)

2t平ボディー1台

10tウイング1台

・運搬する廃棄物の種類

非鉄金属類・電子機器廃材各種・廃プラスチック・その他

*収集運搬のみのため、処理施設はありません。

(11) 受託した産業廃棄物の処理量

・収集運搬(廃プラ類) 122.14t(2023年10月～2024年9月)

2. 環境経営方針

環境経営方針

<環境理念>

株式会社ベーシックは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

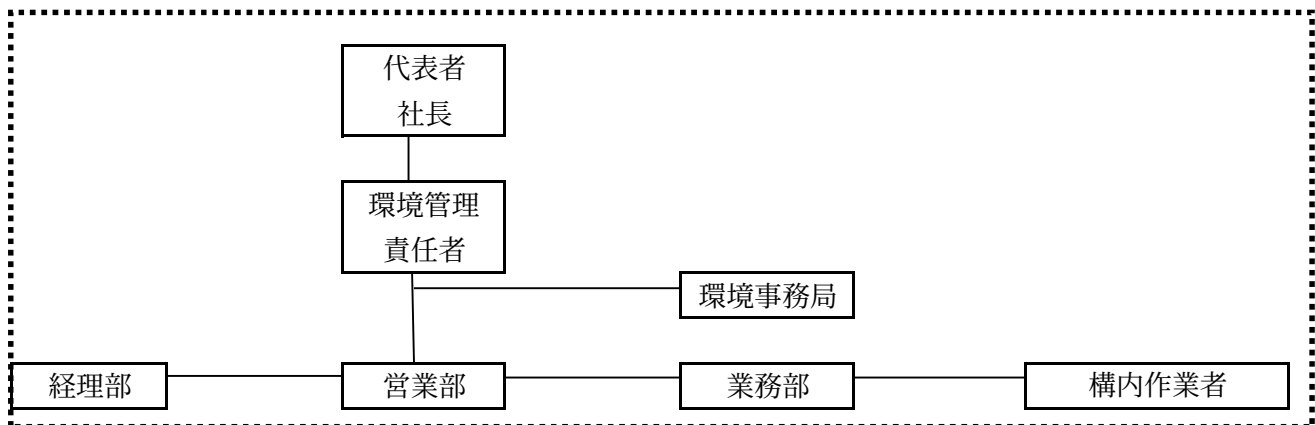
- ①お客様への環境に関する情報の提供
- ②収集運搬車の燃費の向上
- ③購入品及び事務用品のグリーン購入に努める
- ④電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ⑤水資源の節水
- ⑥産業廃棄物排出量の削減

これらについて環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

	制定日：2010年10月1日
	改定日：2019年7月1日
株式会社ベーシック	代表取締役社長 名倉 篤史

3. 環境管理実施体制



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、環境経営目標の設定方法として前年度実績値を基準値とする「スライド方式」を採用しています。

(1) 短期的環境経営目標

項目	単位	基準	目標	
		2022年度	2023年度	
		基準値	削減率	目標値
環境に関する情報の提供		提供できた	提供する	
燃費の向上	km/ℓ	5.12	※+1%	5.17
グリーン購入に配慮する		配慮できた	配慮する	
ガソリン使用量削減	ℓ	2,185	-1%	2,163
	kg-CO ₂	5,068	-1%	5,017
軽油使用量削減	ℓ	16,179	-1%	16,017
	kg-CO ₂	41,741	-1%	41,324
電力使用量削減	KWh	4,386	-1%	4,342
	kg-CO ₂	0	-1%	0
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	46,810	-1%	46,342
水資源使用量削減	m ³	36.0	-1%	35.6
産業廃棄物排出量削減	t	4.80	-1%	4.75

<備考>

1. 我が社は、取り扱いの新電力（エバーグリーンリテリング社）のカーボンニュートラルのCO₂フリープランを導入し、2022年4月からCO₂の排出量をゼロとしている。
2. ※印箇所は、削減率ではなく向上率である。
3. 2022年度までは、環境効率指標である「絶対値（総量）/取扱量」については評価していたが、実態に合わないことから今期（2023年度）より廃止した。

(2) 中期的環境経営目標【次年度以降の環境経営目標】

項目	単位	基準年	目標値							
		2023年	2024年		2025年		2025年		2026年	
		基準値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
環境に関する情報の提供		提供できた	提供する		提供する		提供する		提供する	
燃費の向上	km/ℓ	4.97	※+1%	5.02	※+2%	5.07	※+3%	5.12	※+4%	5.17
グリーン購入に配慮する		配慮できた	配慮する		配慮する		配慮する		配慮する	
ガソリン使用量削減	ℓ	2,127	-1%	2,106	-2%	2,084	-3%	2,063	-4%	2,042
	kg-CO ₂	4,935	-1%	4,886	-2%	4,836	-3%	4,787	-4%	4,738
軽油使用量削減	ℓ	15,473	-1%	15,318	-2%	15,164	-3%	15,009	-4%	14,854
	kg-CO ₂	39,920	-1%	39,521	-2%	39,122	-3%	38,722	-4%	38,323
電力使用量削減	KWh	6,229	-1%	6,167	-2%	6,104	-3%	6,042	-4%	5,980
	kg-CO ₂	0	-1%	0	-2%	0	-3%	0	-4%	0
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	44,855	-1%	44,406	-2%	43,958	-3%	43,509	-4%	43,061
水資源使用量削減	m ³	33.0	-1%	32.7	-2%	32.3	-3%	32.0	-4%	31.7
産業廃棄物排出量削減	t	4.20	-1%	4.16	-2%	4.12	-3%	4.07	-4%	4.03

<備考>

1. 我が社は、取り扱いの新電力（エバーグリーンリテリング社）のカーボンニュートラルのCO₂フリープランを導入し、2022年4月からCO₂の排出量をゼロとしている。
2. ※印箇所は、削減率ではなく向上率である。
3. 2022年度までは、環境効率指標である「絶対値（総量）/取扱量」については評価していたが、実態に合わないことから今期（2023年度）より廃止した。

5. 環境経営計画

作成者:環境事務局 山下欣也

方針	項目	責任者	活動項目	スケジュール
二酸化炭素排出量削減	燃費の向上	河合	① 効率的なルートで配送	常時実施
			② エリア別営業活動の見直し	常時実施
			③ アイドリングストップ	常時実施
			④ 急加速・急停車の防止	常時実施
			⑤ 車内冷房の控え目使用	6月～9月実施
			⑥ 燃費のよい車の購入	更新時実施
	ガソリン使用量の削減	山下	① エリア別営業活動の見直し	常時実施
環境配慮資材購入	軽油使用量の削減	山下	① 効率的なルートで配送	常時実施
	電気使用量の削減	夏目	① 照明機器の省エネ化	常時実施
			② 空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	冷房:6月～9月実施 実施暖房:11月～3月実施
排水量削減	水資源使用量の削減	山下	① 洗濯はまとめてやる	常時実施
			② 手洗い時、水を出しっぱなしにしない	常時実施
廃棄物削減	産業廃棄物の削減	山下	① パレットはプラスチック製を使う	常時実施
産業廃棄物の3Rの推進	環境に関する情報の提供	山下	① 環境などの情報の提供に配慮	常時実施

6. 環境実績結果

運用期間 (2023年10月～2024年9月)

項 目	単位	基準	目標				
		2022年度	2023年度				
		基準値	削減率(%)	目標値	実績値	達成率	評価
環境に関する情報の提供		提供できた		提供する	提供できた		○
燃費の向上	km/ℓ	5.12	※+1%	5.17	4.97	96.1%	△
グリーン購入の推進		配慮できた		配慮する	配慮できた		○
ガソリン使用量	ℓ	2,185	-1%	2,163	2,127	98.3%	○
	kg-CO ₂	5,068	-1%	5,017	4,935		
軽油使用量削減	ℓ	16,179	-1%	16,017	15,473	96.6%	○
	kg-CO ₂	41,741	-1%	41,324	39,920		
電力使用量削減	KWh	4,386	-1%	4,342	6,229	143.5%	×
	kg-CO ₂	0		0	0		○
全二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	46,810	-1%	46,341	44,855	96.8%	○
水資源使用量削減	m ³	36.0	-1%	35.6	33.0	92.6%	○
産業廃棄物排出量削減	t	4.80	-1%	4.75	4.20	88.4%	○

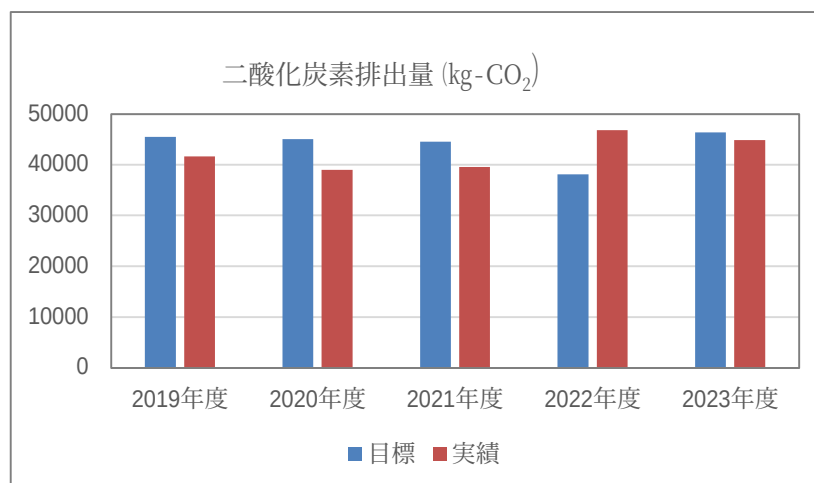
<備考>

- ※印箇所は、削減率ではなく向上率である。
- 達成率は、「(実績値÷目標値)×100」である。
- 評価方法は、○印が「達成」、△印が「ほぼ達成(100<達成率<105の場合。但し、燃費の向上の場合は95<達成率<100)」, ×印が「未達成」である。
- 2022年度までは、環境効率指標である「絶対値(総量)/取扱量」については評価していたが、実態に合わないことから今期(2023年度)より廃止した。

<評価コメント>

今期は「電気使用量」が目標未達成であった。この原因は、猛暑により作業場にスポットクーラーを新たに設置したためである。改めて、社員に節電を呼びかけていく。

過去5年間の二酸化炭素排出量目標・実績



7. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の環境経営計画

評価日:2024年10月2日

評価者:環境事務局 山下欣也

方針	項目	責任者	活動項目	定期的な確認・評価・是正	
				達成状況／是正策 (実施責任者)	次年度の取組 (環境管理責任者・代表者)
二酸化炭素排出量削減	燃費の向上	河合	① 効率的なルートで配送	実施できた	継続実施
			② エリア別営業活動の見直し	実施できた	継続実施
			③ アイドリングストップ	単月毎達成率が約半分	従業員に対する指導を強化して継続実施
			④ 急加速・急停車の防止		
			⑤ 車内冷房の控え目使用		
			⑥ 燃費のよい車の購入	今期は新規購入無し	事例があれば燃費のよい車を購入
	ガソリン使用量の削減	山下	① エリア別営業活動の見直し	見直しを図ったがガソリン使用量増加	強化して継続実施
	軽油使用量の削減	山下	① 効率的なルートで配送	実施できた	継続実施
	電気使用量の削減	夏目	① 照明機器の省エネ化	CO2の発生はメニューによりゼロであるが、電気使用量増加	強化して継続実施
			② 空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)		強化して継続実施
環境配慮資材購入	購入品・事務用品のグリーン購入	戸塚	① グリーン購入に配慮する	配慮できた	引き続きグリーン購入に配慮して継続実施
排水量削減	水資源使用量の削減	山下	① 洗濯はまとめてやる	実施できた	継続実施
			② 手洗い時、水を出しっぱなしにしない	実施できた	継続実施
廃棄物削減	産業廃棄物の削減	山下	① パレットはプラスチック製を使う	実施できた	継続実施
産業廃棄物の3Rの推進	環境に関する情報の提供	山下	① 環境などの情報の提供に配慮	情報提供できた	継続実施。引き続き環境情報を提供

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年10月2日 環境事務局 山下 欣也

法規制等の名称		内容又は規制基準値	実施事項	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬業	排出事業者との契約	契約（書）の締結	遵守
		マニフェスト管理	D票、E票の返却	遵守
		マニフェスト返却	90日以内または180日以内	遵守
		マニフェスト保管	5年間保存	遵守
		マニフェスト集計と報告	6月30日までに知事又は浜松市長に報告	遵守
		投棄禁止	不法投棄禁止	遵守
		廃棄物の異臭・飛散防止	車両荷台にシートで覆う等	遵守
		処分先の確認	処分状況等	遵守
	排出事業者	処分業者との契約	契約（書）の締結	遵守
		マニフェスト管理	A・B2票10日以内	遵守
		マニフェスト返却	D票90日以内、E票180日以内	遵守
		マニフェスト保管	5年間保存	遵守
		投棄禁止	不法投棄をしない	遵守
		廃棄物の異臭・飛散防止	車両荷台にシートで覆う等	遵守
		産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに静岡県知事に報告	遵守
		産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置	遵守
		産業廃棄物管理票の期間内未返却時の県知事への報告	返却期間終了後30日以内に静岡県知事に報告	遵守
浄化槽法		10条 清掃	年1回の清掃	遵守
		11条 点検	年1回の法定点検	
フロン排出抑制法		簡易点検	第1種特定製品	遵守
静岡県の産業廃棄物の適正な処理に関する条例		管理責任者の選任	研修の受講	遵守
		処理業者の現地確認	1回/年	
家電リサイクル法		適切な引き渡し及び料金の支払	ホームエアコン、冷蔵庫、洗濯機	遵守
自動車リサイクル法		使用済み自動車の適正処分 リサイクル料金の負担	社用車	遵守

今期の取組期間において環境関連法規への違反はありませんでした。なお、関係当局よりの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し

作成日:2024年10月2日
作成者:環境事務局 山下欣也

1・ 見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 「記録・文書」として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ CO ₂ 排出量、廃棄物排出量は
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特にありませんでした
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 特にありませんでした
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 特にありませんでした
	8	その他 (	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示

我が社は、2011年11月8日にエコアクション21を認証取得し、今期で14年目を迎えました。その間、2015年1月に新電力代理店を開始、2021年1月に本社事務所を磐田市大久保へ移転・新築し、照明をLED化すると共に事業所の屋上に太陽光発電装置を設置しました。さらに、我が社は、取り扱いの新電力（エバーグリーンリテリング社）のカーボンニュートラルのCO₂フリープランを導入し、2022年4月からCO₂の排出量をゼロとしています。今期については、2024年3月にフォークリフトをディーゼルからバッテリー式に1台入れ替えました。

一方、エコアクション21の取組においては、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、2022年度より環境経営目標の設定方法を固定方式から前年度実績値を基準値とする「スライド方式」に変更し、さらに、2022年度まで採用していました環境効率指標である「絶対値（総量）/取扱量」が実態に合わないことから廃止することと今期（2023年度）より致しました。

今期（2023年度）の取組結果では、「電気使用量」が目標未達成でした。この原因は、猛暑により作業場にスポットクーラーを新たに設置したためであります。その様なことから、改めて、社員に節電を図るとうに指導致しました。

いずれに致しましても、今後とも社員一同が一丸となってエコアクション21活動を推進して参りますと考えている次第です。

2024年11月14日
株式会社ベーシック
代表取締役社長 名倉篤史

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	
2	環境経営目標	有 ☒ 無	
3	環境経営計画	有 ☒ 無	
4	環境に関する組織	☒ 有 ☐ 無	再度、環境経営計画に定める活動項目の徹底を指示
5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
6	その他（外部への対応）	有 ☒ 無	